

小さい子から読む本

こぶたがぶらぶら

杉田徹文・写実 (福音館書店)

ちっちゃいコブタたちが、お母さんの後について散歩したり、かけこしたり、じゃれあったり。かけこかけこよーいどん、おしこしーの写真がかわいすぎ。(赤木伸枝 薦)

よるくま

酒井駒子 (偕成社)

男の子が、大好きなお母さんを探すよるくまのために奮闘する、素敵なお夜のファンタジーです。親子の愛の絆、母の匂いあたたかさを感じます。(大津夏久 読み薦)

はじめてのおつかい

筒井頼子 作 林 明子 絵 (福音館書店)

みいちゃんのはじめてのおつかいに出かけます。行く道のりでは色々なことがおこります。無事にミルクを買って帰ることができるでしょうか?! (葉子有紀 薦)

子どもに語るイギリスの昔話

松岡享子 編 訳 (こぐま社)

パワーある昔話が16話入った本作。中でも異色の「フォックス氏」は眠れなくなりそうな不気味さ。フツと思わず笑ってしまう「脳みそを買う」など全話楽しめる短編昔話集です。(田島彩香 薦)

じゃんけんの好きな女の子

松岡享子 文 大村玲子 絵 (Gakken)

な〜んでも「じゃんけん、ほん!」で決める女の子に家族は困り顔。「とくべつコーヒー」が気になる! 読むほどにワクワクする一冊です。(清水志帆 薦)

こぐまちゃんとどうぶつえん

作:わかやまけん (こぐま社)

仲良しのしろくまちゃんと出かけた動物園で見た、ゾウやキリンなどの動物がわかりやすく描かれています。2歳の娘はカバのページが大女子です。(赤木伸枝 薦)

うさぎのおとうさんがかいた

へんなくるま (福音館書店)

ぷらぷらーびゅびゅー オノマトペと共に七変化する車のお話。3歳の息子がお腹がよじれる位笑いっぱなしでした。ねんね前の読み聞かせにはご注意?! (飯森葉子 薦)

めざめのもりのいちだいじ

さ・ふくざわ (福音館書店)

くまさんを冬眠から起こすことができるかな? 寒い季節の我が子を起こす時を思い出した一冊。(東 悠里 薦)

うみ

加古 里子 ぶん/え (福音館書店)

海なし県で生まれ育った私は海が怖くてしょうがない。いまもそうですが、意味なく怖がることなくしたのには、この本のおかげです。ありがとうございます。加古里子様。(中野 富美子 薦)

妖怪一家九十九さん

富安 陽子 作 山村 浩二 絵 (理論社)

優しさユーモアあふれる妖怪一家が現代日本で大活躍! わくわくするストーリーに長女はどハマリ。こんな妖怪達なら、ご近所さんになってみたい! (藤松羽 良 薦)

どんだんばしわたれ

こばやしえみこ 作 ましませつこ 絵 (こぐま社)

ご存知、わらわうた「どんだんばしわたれ」の絵本。こんだけじゃなく、ほんほこやがおがおも登場。ましまさんの動きのあるあたたかな絵を楽しみながら、リズムにのってどんだんばしをわたりましょ! (青山伸子 薦)

なすずこのへ?

さく カーソン・エリス 文 テーザー・ピナード 絵 (フレーベル館)

みりごめりごルンバボン!.. お子さんの口からこんな言葉が飛び出すことはありませんか? この本を読めば、きっとあなたも言いたくなる! (渋谷 早苗 薦)

ロバのシルバスターとまほうの小石

(評論社) ウィリアム・スタイク 文 せたていじ 絵

一体どうなっちゃうの〜?! という展開とユーモラスで味のある絵。読んだあと文庫のどこかにいるシルバスターも探してみてね。(登田 由香 薦)

くもとり山のイノシシびょういん

7つのおはなし (福音館書店)

かいたし文 かいたし・なかじまかめい 絵 イノシシ先生は、評判がよくて優しいお医者さん。近く、遠くからの動物たちを助けます。7つのどのお話もおもしろくて、加古里子式ユーモア満載! (ドラ 薦)

大きい子向け

ののほなさん 常時募集中! 楽しんでおいしく(?) ためになることばかり! 仲間になりませんか?



ののほなさんのおすすめ本

ののほなさん連続手記

『ののほなさんになって』 Vol.26 清水 志帆 さん 編

やさしい花柄のお揃いのエプロンをつけた「ののほなさん」。そのののほなさんに、お団子のようにくっついて本を読んでもらう子どもたち。大地の中でも特に文庫が大好きな私は、ののほな文庫で必ず出会えるそんな光景に、「いい場所だな〜」といつもホッと、ここに住みたいくらいだと思っていました。そして、いつか自分も... と思っていたら卒園が目前に! せっかくの出会いを大切にしなければ! と、ののほなさんの門をくぐりました。子どもたちと本との出会いは一生もの。この先もずっと続いていきます。私も同じように、ののほなさんとの出会いを一生ものだと思っ、これからも勉強に通いたいと思っています。

- エディのごちそうづくり (おじいちゃんの誕生日にエディとリリーのきょうだいがごちそうを作ります。レシピ付き!!)
- やまのこどもたち (石井 秋子 文。大地の子ども達なら分かる!)
- きつねがはしる (チエコのわらわうた。ヨゼフ・ラダの絵がすてき!)
- りすとかしのみ (他2話収録)
- やまをとぶ (今をときめくきくち ちきよの絵が面白いので、ながります。)
- ブルドーザーのカンパ (くわらわうた・うたの本)
- のりものなあにかな (おやすみ本 参照)
- はたらくじどうしゃ (大人気! 「いっしょにうたう」の姉妹本)
- いっばいうたうた

窓側の棚に新しい本コーナーがあります。ぜひ手にとってみて下さい。



- ① 静かな森林の中 聞こえる音 大工のキツフキさん 木を切る音
- ② 「よ〜へ何かガサッ」と 通りました! 木を切る音
- ③ 「よ〜で、きつフキさんには ハツとのおひさま」
- ④ 「それは仲良しのうさぎ だったの、ホッとしま
- ⑤ 「うさぎさんには、うさぎ さんのおひさまは、アッカ、 ベーをしました

寒さが和らいで、大地の丘にも少しずつ春がやってきた。穏やかな陽の光を浴びながら絵本の読み聞かせを聞いている子どもたちは、芽吹いたばかりの草花みたいにあっぴり眠たそう。ゆったりと文庫で過ごす時間は、格別なものです。(赤木伸枝 談)

おはなさん